



40歳からの介護知識 6

親のこと、どれだけ知ってる？

親の介護は、ある日突然にやってきます。

もちろん自分の生活が変わってしまうことも大変ですが、意外にも「親のことについて、あまり知らない」というのが盲点になり、親の望むこれからの暮らしをかなえてあげられなかったり、ヘタすると、せっかく築いた財産も「誰も手をつけれない」ということにも。親が元気なうちに、親の意向や、親の有するもの、情報など、大切なことをやりとりしておくことが、これから重要になってきます。

状況

- 健康状態、もの忘れの傾向、歩行の状態
- 既往歴、かかりつけ医、服薬
- 生活の悩み、不安
- 生活状況、生活パターン
- …など



抱えている病気・不調

医療機関・お薬手帳

日課、生活リズム



【1】親の状況 --「いざ」という時のために。

介護が必要になる前から、ぜひ知っておきたいのが「親の状況」。

既往歴や健康状態はもちろん、もの忘れの傾向や、歩行の状態、

自分で食事や排泄がスムーズにできるかどうかなど、身体状況はとくに重要です。

またかかりつけ医や、服用している薬（お薬手帳）なども知っておくと、

急な介護や災害など（もしも）の時に、非常に助かります。

さらに、親の生活状況を知ること、とても大事です。

親と自分の生活リズムと、介護サービスをすりあわせ、ベストな介護生活を。

希望

- 終の住まいはどこで？
- どんな介護を受けたい？
- ヘルパー希望？
- 延命治療について
- …など



介護施設？自宅介護？



介護に対する希望



終末医療についての希望



【2】親の希望・意向 — 親の尊厳をまもるために。

誰であっても人は、生命や人格を尊重される権利があります。

でももしかすると、親は「子どもに迷惑をかけたくない」と、

自分を捨ててまで、これからのことを、無条件に受け入れてしまうこともあります。

もし介護が必要になったときに、自宅か介護施設、どこで暮らしたいか、

ヘルパーさんによる在宅介護を利用するかどうかなど、

介護生活に関する希望や意向を聞くのはもちろん、

最期の延命治療に対する希望も、必ず聞いておきたいところです。

財産

- 預貯金・土地家屋・有価証券など
- 現金・たんす預金
- 契約中の有償サービス
- …など



親の有する財産全般



遺言書などの有無



暗証番号・パスワード



【3】親の財産 — あとで、もめることのないように。

もう一つ、見落としがちな、いや回避しがちな対話が「親の財産」のこと。

たんす預金を含めた預貯金や、土地家屋、有価証券などはもちろん、

借金やローンなどの負債も含めた、すべての財産を把握できていますか？

遺産相続についての家族のもめ事はよく耳にするとありますが、

よく問題になっているのは、親が認知症になったときの「口座凍結」。

銀行は原則、本人以外からの預金引き出しには応じてくれません。

これらを防ぐために、親が元気なうちに、財産についての情報交換は必須です。